

お寺にご縁のない方に、少しでもお寺に参つていただく、高い敷居しきいを削ろうと、婦人会に企画部ができ

ワクワク体験 腕輪念珠づくり

ました。その企画第一弾として、去る九月二十一日、
ながのきはんぼう
長ノ木本坊で「ワクワク体験腕輪念珠づくり」が行わ



れ、たくさんの方が初めてお参り下さいました。念珠づくりの指導は、本通小堀仏壇店の町田育栄さん。企画部スタッフも事前に練習して指導にまわりました。参加者からは、「家の切れたお念珠も、自分で修理できたらいいわね」という声も聞かれました。

二〇〇七年度の報恩講ほうおんこうがつとまりました。十月一日よりご門徒各戸でつとめる「通り報恩講」、ご命日を取り越して現場寺院で勤める「お取り越し報恩講」、そして御正當ごしょうとうのご命日に本山では「御正忌報恩講」がつとまりますが、お参りできない方のために現場で再びつとめる「ご正當報恩講」がつとまりました。特に安芸あきでは「御正當報恩講」は「おたんや」と呼ばれて親しまれています。

報恩講

今年は、住職が二度目の癌がんの手術入院のため、住職の分を西教寺衆徒しゅうと（西教寺に所属する僧侶）の佐藤義典さん、大洲しゅうどう ながおれさん、俊道（中通専徳寺）さん、黒田順真（本どおりほうげんじ 通法眼寺）さん、元法務員の深水純司（因島市無量寺）さんに分担してお願いしました。

※今年度は三津田支坊の撮影を失念し写真がありません。お詫び申し上げます。



（写真上）蔵本通支坊お斎スタッフの皆さん。



（写真上）今年も約1ヶ月にわたり蔵本通支坊境内剪定の御報謝をされた高下田さんと斉藤さん。



（写真右）蔵本通支坊溝掃除をして下さる小田原さんご夫妻。



(写真左) 蔵本通支坊名物精進うどんといなり寿司。お寺でいただくウッキー(社会福祉法人「かしの木」製「サービス」環境を考えて今年から割り箸はやめになりました(残っていたのは出しました)。



蔵本通支坊台所で下拵(こしら)えを担当される皆さん。



(写真左) 蔵本通支坊売店。何を売っているかって? 来てみれば分かる(笑)。



お粥はお持ち帰りもできます。十一月といえどもパラスルが必要。日差しがきついのです。



(写真上) 長ノ木本坊伝統のお粥は、4つのお釜でつくります。皆さんの笑顔がステキ。

(写真右) 長ノ木本坊スタッフの皆さん。お寺のお粥がなんで美味しいか知っとる? それはね、如来さまのお慈悲がしみとるけえよ。



(写真左) 間に合うか!! 緊張感漂うう会館進徳殿。長ノ木本坊のお粥は四百人分。昔ながらのお粥は手間がかかる。



(写真左) 長ノ木本坊売店の皆さん。何を売っているかって? 誰だ「油」なんて言ったのは(笑)。



(写真左) 長ノ木本坊お粥の様子。お寺で食べると暖かいお味噌汁がいただける。



長ノ木本坊御満座は、念仏正信偈(もつひとつのお正信偈)。結果は和庄明法寺ご住職の他、西教寺衆徒も出勤。住職の声が出ないので若院が導師をしました。

広島真宗カウンセリング学習会

去る二〇〇七年七月三日～二四日、広島別院で第七回広島真宗カウンセリング学習会が行われました。

今回は、おなじみの松岡宗淳先生（真宗カウンセリング研究会代表・臨床心理士）に加え、京都より増井信先生（同会事務局・浄土真宗華光会役員）にお越しいただき、公開講座では「私の考える実践的真宗法

座論」というテーマで学びました。増井先生の所属する浄土真宗華光会は、座談の法座が中心です。数人が車座になって、お互いにホッネのところだと思いを話し合い、聞き合う法座です。蓮如さんの時代には「談合」と言われてさかに行われていました。同会では、いち早く真宗カウンセリングの理論を取り入れて、めざめや成長が促進される座談を行っている座談の先駆です。



（写真上）安芸南組報恩講ほとけの子の集い。葬式劇でご縁ができた劇団「あひる座」の人形劇。「ネコの子はどうやって鳴き方を習ったか」行儀の悪い子供もいつしか吸い込まれるように見入っていました。（2007. 12. 25 於・蔵本通支坊）



大逮夜（15日夜）は、安芸門徒は、昔から煮込め（にごめ）を食べてお精進で過ごしています。食事だけでなく、地球の温暖化に向き合うことも現代のお精進といえないでしょうか。今年も残口ウを再利用して、長ノ木本坊周辺をライトアップしました。長ノ木本坊周辺は、車が通らない山の上ならではの静謐（せいひつ）な雰囲気につつまれていました。参詣者は、わずかな時間ですが電気を消して過ごし、親鸞聖人の伝記物語である『御伝鈔』に耳を傾け、親鸞さまの御一生を追体験し、ご苦労を偲びました。また、参詣者は、人気の白味噌仕立てのお雑煮に舌鼓を打ちました。

修正会



2008年元日修正会、満堂の参詣者でにぎわう長ノ木本坊ご流盃の様子。お寺でお酒が飲めるのは在家仏教である浄土真宗ならではの。

除夜の鐘



長ノ木本坊除夜の鐘の様子。今年は、寒い大晦日でしたが、たくさんのお参りで長い行列ができました。今年は旅行客からの問い合わせが数件あり、何組かの方が撞きに來られました。また今年は、二男学（提灯の下でVサインをしている）・三男遊も寝ずに頑張ってお参りしました。